

## 高1 職場体験の様子を紹介します

高等部1年生が7月16日に、ザ・ビッグ長崎店・株式会社マルサ・富根ファームの三か所に分かれて、職場体験を行いました。

### 株式会社マルサ

株式会社マルサは、木製建具・家具の製作・施工をする会社です。能代支援学校のドアや欄窓もマルサさんが施工したものです。今回は、木材をつなぎ合わせてドアなどの板を作る作業を体験しました。5種類の長さの木材を順番通り並べ、ボンドを塗り、金具で閉め、たたいて隙間をなくして板を作りました。



木材が板になるように  
金具で締めています。

たたいて隙間を  
なくしています。



木材を長さごとに並べます。



ローラーで  
木材に、ボンドを  
塗っています。

### 富根ファーム

富根ファームは、関東圏に多く店舗を構える「おすび権兵衛」の特別契約農家です。おいしいあきたこまちを栽培し、出荷しています。今回は、お米の計量や育苗箱の洗浄を体験してきました。



10キロのお米が自動で出てきます。  
こぼさないように袋に詰めました。



計量したお米を米袋に3個ずつ  
入れています。30キロの米袋を一人  
ずつ持ってみました。

育苗箱の洗浄体験をしました。4人  
で役割分担をしてたくさんきれいに  
することができました。



# ザ・ビッグ長崎店

ザ・ビッグ能代長崎店では、品出しや前出し、ペットボトルや紙パックなどの回収作業を体験してきました。品出しでは、バックヤードから段ボール箱を店頭へ運び、見栄えや崩れないように気を付けながら並べました。前出しでは、商品を取りやすいように、手前に出しました。



## 進路にまつわるエトセトラ ～どんな大人になるのかな編～

できているね

「休まない」「挨拶できる」「素直」・・・人や会社／施設は様々でも、進路先を決定するときによく耳にするフレーズです。

継続しているね

「休まない」「挨拶する」「まじめ」・・・職場に長く勤めているまたは安定して施設利用している卒業生の進路先訪問でよく聞きます。

「実習の時はよかったんだけど」・・・会社／施設が心配して相談してくるときに聞くことがあります。



基礎的な力や習慣を身に付ける過程では、物事に進んで取り組む（自主性）だけでなく、物事を自分自身で考えて実践する（主体性）機会があると、その人の本当の力になるのではないかと感じます。

**主体性**

何をすべきか自分で考える

（決まったことを）自ら進んで実践する

**自主性**

（進路指導主事 由利和也）

## 進路プチ情報 ～高等部卒業後の進路～

秋が近付き、高等部3年生では進路実現のための個別実習や進路相談が個々に進められる時期となりました。今回は卒業後の進路選択で多く例に上がる「一般就労」と「障害福祉サービス利用」の2つをご紹介します。

### 一般就労

- ・雇用契約を結び、労働力の対価として給料をもらいます。
- ・生活のサポートは稀に受けることができるケースもあります。

### 障害福祉サービス利用

通常の事業所雇用が困難な人に働く場所を提供するとともに、知識・能力向上のために、必要な訓練を行います。

#### 就労継続支援

##### A型

雇用契約を結び、給料が支給されます。

#### 就労移行支援

非雇用ですが、就労に必要な訓練を原則24ヶ月行います。

#### 就労継続支援

##### B型

非雇用ですが、工賃が支給されます。

#### 生活介護

生活に関する支援を行います。

※上記に関しての詳しい内容や、障害者手帳については4月に配付しました「令和3年度 進路のてびき」p3-4に記載しています。ぜひご覧下さい。